

意見検討結果一覧表
 （案名：宮古港長期構想（素案））

番 号	意 見	検討結果（県の考え方）	決定への 反映状況
1	フェリー航路の運航が止まった最大の原因は、宮古～東北自動車道へのアクセス時間をゼロにする事が不可能である事につきる。青森県八戸市に比べて宮古港は地理的条件として圧倒的に不利であり、「ポートセールスは元来不可能」という認識を明記すべきです。東北自動車道にゼロアクセスできますか。	宮古から東北自動車道へのアクセスについては、宮古港に直結する宮古港インターチェンジが令和2年7月に供用済みであり、今後、宮古盛岡横断道路の全線開通による東北自動車道への更なるアクセス性の向上が見込まれることから、道路ネットワークの充実による利便性を生かし、ポートセールスに取り組んでいきます。	D（参考）
2	千島海溝巨大地震津波の被災想定が明確で無い以上、「災害に強い安全安心な港湾機能の強化」自体がナンセンスとなっています。「宮古港は必ず津波で破壊される」前提で構想立案すべきです。	災害に強い安全安心な港湾機能の強化については、近年の相次ぐ自然災害の教訓や千島海溝巨大地震津波の情報等を踏まえ、関係機関や港湾利用者と連携し取り組んでいきます。	D（参考）
3	新型コロナウイルスのパンデミックによって、ロイヤル・カリビアン・インターナショナルの経営状況が悪化しているのかどうか確認して素案を作成していますか。2021年もクルーズ船は寄港しないかもしれませんが、その現実を踏まえて素案を見直すべきです。	クルーズ船の寄港については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響はあるものの、クルーズ船運航会社や関係機関と連携し、感染防止対策を講じたうえで寄港増加に取り組んでいきます。	D（参考）
4	盛岡～宮古間の所要時間が75分も存在する間は、トラックドライバーは八戸から東北自動車道に直接乗り入れる他ありません。すでに宮古はトラックドライバーに見捨てられている現実を踏まえて素案を見直すべきです。「短縮して75分」は、意味がありません。	宮古港背後の道路交通網については、三陸沿岸道路や宮古盛岡横断道路の全線開通により多様なネットワークが構築されることから、トラック利用の状況を注視しながらポートセールスに取り組んでいきます。	D（参考）

備考1 「類似意見件数」欄については、類似の意見をまとめて公表するときに当該類似の意見の件数の記入に用いるものとし、それ以外のときは削除するものとします。

2 「決定への反映状況」欄には、次に掲げる区分を記載するものとします。

区 分	内 容
A（全部反映）	意見の内容の全部を反映し、計画等の案を修正したもの
B（一部反映）	意見の内容の一部を反映し、計画等の案を修正したもの
C（趣旨同一）	意見と計画等の案の趣旨が同一であると考えられるもの
D（参考）	計画等の案を修正しないが、施策等の実施段階で参考とするもの
E（対応困難）	A・B・Dの対応のいずれも困難であると考えられるもの
F（その他）	その他のもの（計画等の案の内容に関する質問等）

3 意見（類似の意見をまとめたものを含む。）数に応じて、適宜欄を追加して差し支えありません。

4 計画等の案の項目区分に応じて、適宜表を分割して差し支えありません。